

Ⅱ 病院報告

1 患者数

(1) 1日平均在院・新入院・退院患者数

令和6年中における全国の病院の1日平均在院患者数は1,133,196人で、前年に比べ0.8%増加している。

このうち、「精神科病院」は199,866人で、前年に比べ0.9%減少し、「一般病院」は933,331人で、前年に比べ1.2%増加している。

一般病院の1日平均在院患者数を病床の種類別にみると、「精神病床」は58,063人、「療養病床」は228,973人、「一般病床」は645,093人となっている。

また、1日平均新入院患者数は44,210人、1日平均退院患者数は44,156人となっている。

療養病床を有する診療所の「療養病床」の1日平均在院患者数は1,605人となっている。（表1、図1）

表1 1日平均在院・新入院・退院患者数

	各年間								
	1日平均在院患者数			1日平均新入院患者数			1日平均退院患者数		
	令和6年 (2024)	令和5年 (2023)	対前年 増減率	令和6年 (2024)	令和5年 (2023)	対前年 増減率	令和6年 (2024)	令和5年 (2023)	対前年 増減率
病 院	人	人	%	人	人	%	人	人	%
総 数	1 133 196	1 123 654	0.8	44 210	42 699	3.5	44 156	42 658	3.5
精 神 科 病 院	199 866	201 759	△ 0.9	700	685	2.2	709	688	3.1
一 般 病 院	933 331	921 894	1.2	43 510	42 013	3.6	43 447	41 970	3.5
精 神 病 床	58 063	59 418	△ 2.3	302	302	0.0	312	310	0.6
感 染 症 病 床	253	2 986	△ 91.5	31	240	△ 87.1	24	221	△ 89.1
結 核 病 床	949	1 017	△ 6.7	20	25	△ 20.0	18	23	△ 21.7
療 養 病 床	228 973	231 536	△ 1.1	1 291	1 282	0.7	1 869	1 829	2.2
一 般 病 床	645 093	626 938	2.9	41 866	40 164	4.2	41 224	39 587	4.1
療養病床を有する診療所 療 養 病 床	1 605	2 046	△ 21.6	10	13	△ 23.1	15	20	△ 25.0

注：月途中で病院の種類が変更された場合、患者数は月末時の病院の種類別で計上している。

(2) 病院の1日平均外来患者数

病院の1日平均外来患者数は1,212,243人で、前年に比べ1.7%減少している。

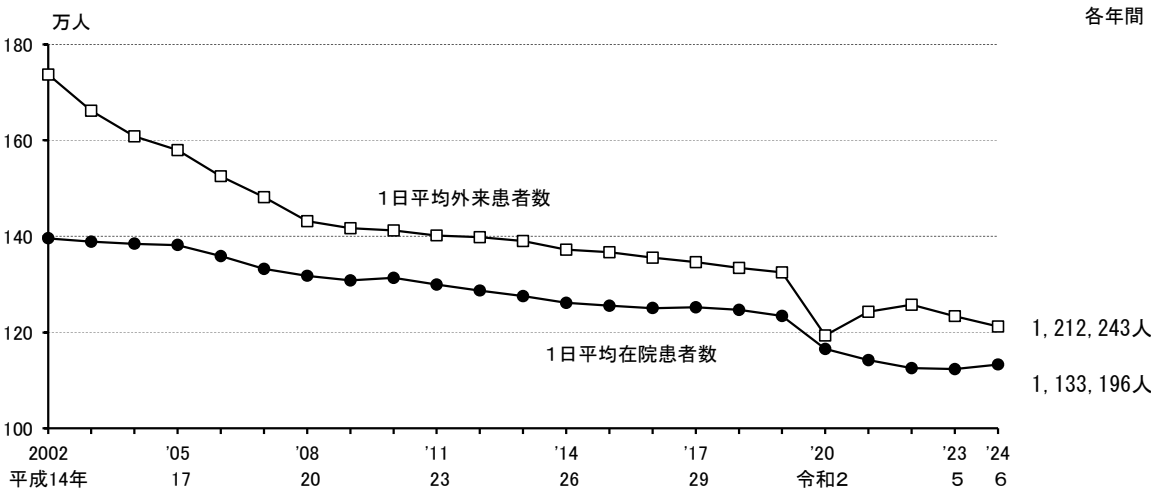
このうち、「精神科病院」は56,546人で、前年に比べ0.4%減少し、「一般病院」は1,155,697人で、前年に比べ1.8%減少している。(表2、図1)

表2 病院の1日平均外来患者数

病 院	1日平均外来患者数		対前年 増減率
	令和6年 (2024)	令和5年 (2023)	
	人	人	%
総 数	1 212 243	1 233 703	△ 1.7
精 神 科 病 院	56 546	56 791	△ 0.4
一 般 病 院	1 155 697	1 176 911	△ 1.8

注：月途中で病院の種類が変更された場合、患者数は月末時の病院の種類別で計上している。

図1 病院の1日平均患者数の年次推移



注：1) 東日本大震災の影響により、平成23年3月分の報告において、病院の合計11施設（岩手県気仙医療圏1施設、岩手県宮古医療圏1施設、宮城県石巻医療圏2施設、宮城県気仙沼医療圏2施設、福島県相双医療圏5施設）は、報告のあった患者数のみ集計した。
2) 熊本地震の影響により、平成28年4月分の報告において、熊本県の病院1施設（阿蘇医療圏）は、報告がなかったため除いて集計した。
3) 平成30年7月豪雨の影響により、平成30年7月分、8月分の報告において、広島県の病院1施設（尾三医療圏）は、報告がなかったため除いて集計した。
4) 令和2年7月豪雨の影響により、令和2年6月分、7月分の報告において、熊本県の病院1施設（球磨医療圏）は、報告のあった患者数のみ集計した。

2 病床利用率

病院の病床利用率は77.0%で、前年に比べ1.4ポイント上昇している。

病床の種類別にみると、「精神病床」は81.4%で前年に比べ0.2ポイント低下している。「療養病床」は85.0%で前年に比べ0.9ポイント上昇している。「一般病床」は73.3%で前年に比べ2.5ポイント上昇している。

また、療養病床を有する診療所の「療養病床」の病床利用率は40.0%となっている。(表3)

表3 病床の種類別にみた病床利用率

各年間			
	病 床 利 用 率		対前年 増 減
	令和6年 (2024)	令和5年 (2023)	
病 院	%	%	
全病床	77.0	75.6	1.4
精神病床	81.4	81.6	△ 0.2
感染症病床	13.1	160.8	△ 147.7
結核病床	26.6	26.8	△ 0.2
療養病床	85.0	84.1	0.9
一般病床	73.3	70.8	2.5
療養病床を有する診療所			
療養病床	40.0	41.5	△ 1.5

注：在院患者数は許可病床数にかかわらず、毎日24時現在に在院している患者数をいう。
このため、感染症病床の在院患者数には、緊急的な対応として一般病床等に在院する者を含むことから病床利用率は100%を上回ることがある。

3 平均在院日数

病院の平均在院日数は25.6日で、前年に比べ0.7日短くなっている。

病床の種類別にみると、「精神病床」は255.0日で前年に比べ8.2日短くなっている。「療養病床」は117.4日で前年に比べ2.2日短くなっている。「一般病床」は15.5日で前年に比べ0.2日短くなっている。

また、療養病床を有する診療所の「療養病床」は96.2日となっている。(表4)

表4 病床の種類別にみた平均在院日数

(単位: 日)		各年間	
	平均在院日数		対前年 増減数
	令和6年 (2024)	令和5年 (2023)	
病 院			
全病床	25.6	26.3	△ 0.7
精神病床	255.0	263.2	△ 8.2
感染症病床	9.2	13.3	△ 4.1
結核病床	49.4	42.1	7.3
療養病床	117.4	119.6	△ 2.2
一般病床	15.5	15.7	△ 0.2
療養病床を有する診療所			
療養病床	96.2	97.4	△ 1.2

注：平均在院日数の計算式は4頁を参照。